

関節鏡を用いた低侵襲治療で スポーツ・膝疾患の早期回復を目指す

スポーツを原因とする
関節疾患に力を入れる

甲府病院整形外科では、骨折、打撲、捻挫などの外傷はもとより、四肢の関節、靭帯、腱などの運動器の疾患全般を扱う。2007年6月には「スポーツ・膝疾患治療センター」を開設。



スポーツ・膝疾患治療センター長



さとし 落合 聡司

センター長・落合聡司医師、外科系診療部長・萩野哲男医師を中心にスポーツを原因とする傷害、特に膝十字靭帯損傷に対する靭帯再建術、半月板損傷に対する半月板修復術、関節軟骨損傷に対する手術など膝関節疾患の治療を積極的に行っている。

関節鏡を用いた
低侵襲治療

年間（2012年4月～2013年3月）の手術件数734件の内、577件が関節鏡手術となっている。関節鏡手術は、関節のまわりに7ミリほどの小さな切開を2カ所加え、鉛筆ほどの太さの内視鏡カメラを挿入して行われる。半月板、靭帯、関節軟骨など関節の内部を液晶モニターで確認しながら、傷んだ部分を修復したり、不要な遊離体を摘出除去する。靭帯再建術にも関節鏡を用い、多くの場合、3カ所程の切開で傷跡は目立ちにくいという。

設備面では高性能鏡視下手術システムをはじめ、膝関節の損傷を適切に診断するためのMRI、X線用ステルス用関節固定器などの最



手術実績 (2012年4月～2013年3月)

関節鏡(内視鏡)手術 577件	膝靭帯再建手術 108件	前十字靭帯 後十字靭帯 複合靭帯手術など	99件 3件 6件
	半月板手術 228件	縫合術 切除術 その他	40件 187件 1件
		関節ねずみ摘出術 滑膜切除術 その他	13件 125件 103件
	骨折、脱臼手術	上肢骨折手術 大腿骨近位部骨折 下肢(大腿、下腿、足)骨折手術	20件 38件 22件
		人工関節、人工骨頭手術	18件
		手外科手術 その他 総手術件数	18件 41件 734件

新機器を導入。リハビリテーションに関しても、膝関節の機能評価に用いる多用用途筋機能評価運動装置や、エログメーター、トレッドミルなどのトレーニング機器を充実させている。

「国民のスポーツや健康づくりに対する意識が高まるなか、当センターではアスリートのスポーツ障害、一般の方の膝疾患に対する低侵襲治療による早期回復を目指しています」と落合聡司センター長は話す。

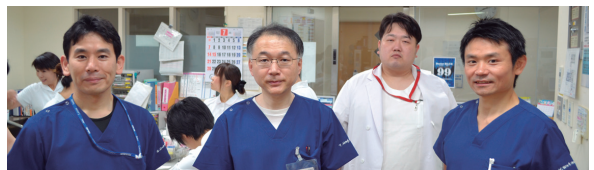


病院長 長沼博文

診療科目: 内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科(山口敏昭)

受付時間: 8:30～11:00
休診日: 土・日・祝

〒400-8533 山梨県甲府市天神町11-35
TEL.055-253-6131
<http://www.kofu-hospital.jp/>



スポーツ・膝疾患治療センターのスタッフ
左からスポーツ・膝疾患治療センター長 落合聡司、外科系診療部長 萩野哲男、整形外科医師 千賀進也、整形外科医長 渡邊義孝